

大野 新吉君 1 番テーブル米山委員長の山本先生と同席。米山奨学会に協力して！！
米山 忠俊君 BOXに協力して。
山本 賢君 山中年度、米山委員長もあと 3 ヶ月となりました。まだまだ米山功労者エントリー受け付けています。お声をかけて下さい。

本日の行事

エレクト研修報告会

クラブ会長エレクト研修セミナーに参加
して 石川 友意会長エレクト



さる 3 月 22 日に
VIP 三条において、
開催されました
PETS のご報告を
申し上げます。
我クラブより、地区
役員として中條パ
ストガバナー（地区
研修リーダー）はじ

め、職業奉仕委員長の山崎さん、副委員長の
落合さん、クラブ活性化委員長の木宮さん。
そして私と米山次年度幹事の出席でした。
当日は、当クラブ社会奉仕事業の今年のメイ
ンであります「大山のぶ代」の食育講演会の
日でもあり、そのお手伝いが出来ず、申し訳
ございませんでした。

開会冒頭、渡辺ガバナーより PETS とはペッ
トの複数形ではありませんで、(笑) 又、本研修
会で幹事さんから、出席していただいたの
は、会長一人では心もとないので、(笑) では
なく、会長と幹事さんがしっかりとタッグを
組んで、それぞれのクラブ運営を良い方向に
引っ張ってほしいとの願いで、幹事さん
からも出席を頂いたと話され、ユーモアを
交えたお話がございました。

つづいて、地区研修リーダーとして我クラブ
中條パストガバナーより、一つ一つのクラブ
の活性化が地区の活性化・ひいては地区を元
気にすることであり、この研修後、一年間の
企画をしっかりと練っていただきたいと言う、
本研修会の目的を話されました。次に、馬場

ガバナーエレクトより、1 月に開催されたア
メリカサンディエゴでの国際協議会に出席さ
れた報告、そして、次年度李 RI 会長の方針
であります「夢をかたちに」の解説と次年度
地区方針が示されました。

RI 会長のメッセージは、毎日肺炎やはしか、
マラリアといった避けられるはずの病気で命
を落とす 5 歳未満の子供の数が、3 万人もい
る現実があることをふまえ、ここ数年のロー
タリーの強調事項である「水と保健と飢餓・
識字率向上」をそのまま引き継ぎながら、こ
うした不幸な子供たちに光を当てる年度にし、
手を差し伸べ、死亡率を少しでも下げること
に RI として努力していく方針の説明があり
ました。

地区運営方針は<「ロータリーで人生を高め
よう」愛する地区を元気にするために、今日
こそ学び、行動しよう>であります。「人生を
高めよう」は、漢学者諸橋轍次先生のことで、
持っている力を大いに発揮しようと言う
意味だそうです。

地区の各クラブの数値目標が掲げられまし
たが、その中でも最近あまりロータリーとし
て強くいわれなくなった出席率の目標が示さ
れたことは、当クラブが地区の出席率の足を
引っ張っている現実を考えますと、我クラブ
として、検討してゆかなければならないと思
っております。昼食をはさんだ前後に基調講
演がそれぞれありました。

最初の講演は、栄光学園で 18 年間教鞭を執
られた、境野勝悟氏の「和の心について」の
お話でした。栄光学園はカトリック系の学校
でその経験から、西洋人と日本人の心の違い

をはっきり感じられ「おもしろい」と言う日本人が大切にしていかなければいけない、心の持ち方を力説されました。

境野先生の講演はこの後、地区協では「道の心」、そして地区大会では「日本の心」のお話があるようなので、楽しみです。

昼食後は、パワー浜松 RC の会長原田道子氏の「何故会員が増加するの？」という演題で会員増強の秘訣を披露されました。昨年新会員23名増加したそうで、内容は職業分類で未充足の会員をどんどん増やしていき、クラブとして入会していただくと助かる方、等をポイントを絞って入会を勧めたと言っておられました。

増強は、クラブ員全員が「増強それ自体を楽しむ」ことで、達成できるとのことです。講演後は、各分区に分かれて分科会がそれぞれの会場で開かれました。

我第四分区は、古井 AG を中心に、会員増強について各クラブの現況等で、話し合いが行われましたが、現在どのクラブも増強には頭を悩めている様であります。我北クラブが現在分区で一番会員数が多く、又、毎年確実に増強できていることに、皆さん驚かれていました。その秘訣とはと、問われましたので、当クラブの増強委員長さんが優秀なのではとお話をしておきました。

分科会後懇親会があり、同じテーブルの他クラブの方と、それぞれのクラブのお話をさせていただき、定刻の17時30分に終了いたしました。

全体的な感想としましては、RI として地区の運営方針と数値目標は、ハッキリ示され、ある程度理解でき、又、すばらしい講演を聞いたことは、良かったものの、分科会で会長とは、あるいは幹事とはこうあるべきといった様な、勉強がなかったところが、少し物足りない感じがしましたが、会長として自分なりに勉強して、進めてゆかなければいけない事なのだと理解もいたしております。

次年度、いたらない会長であります、米山

幹事と共に一生懸命会員の皆様の為に、務めたいと思いますので、ご指導とご協力を心からお願い申し上げ、PETS の報告とさせていただきます。

米山キクエ幹事エレクト



3月22日のペット्सに出席して参りました。石川会長エレクトのお話しの通りです。

「ペットとはペットの複数ではありません」とは渡辺ガバナーのお話しです。

PETSとはPresident's Elect Training Seminarの略で次年度のクラブ会長のための研修会です。ですが次年度の会長と幹事が共に勉強した方がクラブ運営がスムーズに進むのではないだろうかというお考えで中條年度より会長幹事一緒に研修するこのスタイルになったそうです。私には過日クラブ幹事要覧という冊子が届きました。クラブを学校に例えたら教科書にあたるものでしょうか。開いて見ますと幹事の役割と責務について事細かくびっしり書いてあります。ちょっとやそつの時間で内容を把握することなど私には不可能です。

ペット्स参加時にこの冊子を持参する事となっていましたのでどの様な研修会になるのかと不安な気持ちでした。しかし研修会は思いのほかスナリと終了しました。各々自身で勉強しなさいという事なのだろうと理解しています。全く自信はありませんが。

パワー浜松ロータリークラブの原田道子会長のご後援での開口一番にこんな話がありました。「こちらにお出での会長エレクトの皆さんおめでとうございます。幹事エレクトの皆さんご愁傷様です。」きっと幹事は大変なポジションなんですよとおっしゃりたかったようです。

2560地区57クラブの次年度会長幹事のメンバーを拝見しましたら、女性の会長が4名（新潟万代・新津・加茂・吉田）、女性の幹